

CIA が文字通り**すべて**を支配している——深層国家さえも

CIA も同様に、もっと秘密のレベルの命令とコントロールを受けている

【訳者注】マフィアをはるかに凌ぐ、長い歴史をもつ、地球規模の悪党組織、悪の権化ともいべき CIA が、我々をコントロールしている。（“離脱者”の一人が、マフィアは CIA を怖がるほどだと言っている。）我々はこれを知らなかった。それを知らずに、世の中が悪いのは自然にそうなったことで、これを改善しようとして、人々が働いてくれているのかと思っていた。それはまるきり反対だった。CIA という人類の怨敵が、事実上、地球上のすべてを支配し、すべて人々や機関を手なづけ、我々とこの地球惑星を滅ぼそうと、ずっと努力を続けてきたのだった。今その観点から、この世界すべてが、我々の戦うべき相手として見えてきた。

副題で、CIA もまた命令を受けていると言っている、より秘密のレベルとは何だろう？それはトランプ大統領も明言している「サタン崇拝者たち」である。彼らは霊的な悪の次元とつながっている。サタンとか、ルシファーとか呼ばれる霊的存在を嘲笑する人々は、彼らと戦えないようにするために、彼らに教育されているにすぎない。それが、我々がずっと受けてきた、我々を骨抜きにする、左翼唯物論教育である。

State of the Nation (SOTN)

November 26, 2017

ここに掲載する鋭いコメントは、e メールによって SOTN へ送られてきたものである。それは単純に、中央情報局 CIA について、それがアメリカ合衆国と、さらにそれを越えたところまで、完全にコントロールしているという事実を述べている。

それはまた、深層国家 (Deep State) が、実はいかに遠くにまで及んでいるかを示している。あらゆる公的に取引される企業、たとえば、アングロ・アメリカン枢軸の内部の企業は、直接的あるいは間接的に、CIA によってコントロールされている。これが、アメリカの情報局共同体が、CIA を「会社」The Company と呼んでいる理由である。

グローバル・コントロール・マトリックス (GCM) は、現実的に New World Order の背骨であり、事実上の One World Order として機能している。“深層国家”は、GCM というパズ

ルの要の 1 ピースにすぎない。

現在の“世界的影の政府” (WSG) は、完全な秘密によって動いているのだから、それは存在していない、ということにはならない。グローバリストの New World Order は、百年をはるかに超えた昔から、現実存在している。

実際上の事実をいえば、世界的影の政府 (WSG) は、この地球惑星をすみずみまで支配している。もちろん程度の差はあって、たとえばロシアは、多くの点でその管理圏を離れているが、それでも多くの点で、そのゲームを演じなければならない。

最低限言えることは、CIA は、WSG にとって第一に、実力執行部局だということである。最近書かれた論文に、CIA は「外交問題評議会の実力執行部局だ」とあった。全くその通りである。しかし CIA はまた、深層国家内部の他のあらゆる組織の、公私を問わない、秘密か公然かを問わない、実力執行部局でもある。

この正確な理解によってのみ、人類の抱える問題の難局の本当の大きさが、理解できる。本質的に言って、世界最大の、徹底してならず者の一つの情報局が、我々の人生のあらゆる相をコントロールしているのである。実は、CIA の行動は、違法や違反を問われることは絶対がない——時や場所を問わず、好きなようにできる。たとえば次のように——

「ケネディ暗殺計画は、CIA によって統制され実行された」

<http://stateofthenation2012.com/?p=88390>

そして CIA が、決して終わらない彼らの犯罪的陰謀を、正当化するのにやらねばならないことは、ただ、自分たちは“**国家的安全保障**”のために、働いているのだと主張することである。

何という立場か！

CIA は何をコントロールしているのか？

GA 氏の提出したもの——

主流メディアは CIA である (すべてのテレビ、ラジオ、新聞、ニュース雑誌)。
ハリウッドは CIA (すべての映画、TV プログラム)。

Google は CIA。

フェイスブックは CIA。

ツイッターは CIA。

マイクロソフトは CIA。

アップルは CIA。

IBM は CIA。

インテルは CIA。

Hewlett Packard は CIA。・・・このリストは無限である。シリコン・バレーのすべては CIA だ、とだけ言っておこう。

すべての防衛請負産業は CIA である。たとえば――

Lockheed Martin, General Dynamics, Northrup Grumman, Raytheon, Boeing, Halliburton, United Technologies, Bechtel は、すべて CIA。

ISIS は CIA。

アルカーイダは CIA。

アルヌスラは CIA。

ビン・ラーディン一族は CIA。

サダム・フセインは CIA だったが、CIA に反旗を翻した。(誰でも知っているように、大量破壊兵器などなかった。パパ・ブッシュは、このならず者 CIA エージェント、サダムに激怒した。それが、多くの米兵が、イラクで死傷しなければならなかった原因となる。)

ノリエガは CIA だったが、CIA に反旗を翻した。

カストロは CIA だったが、CIA に反旗を翻した。

ソロスは CIA、かつ MI 6 である。

ブッシュ一族は CIA である。

クリントン犯罪一家は CIA、特に、クリントン財団。

オバマ一族も CIA。

ホワイトハウスは過去 25 年間以上、CIA だった。

FBI は CIA である。(これは当然。そうでなかったら、FBI は、とうの昔にマフィアを滅ぼしていたはずである。しかし彼らはその気がないではないか！ なぜかと言えば、CIA とマフィアは、尻がくっついているからである (シャム双生児)。彼らは、JFK 暗殺がはっきり

証明するように、犯罪上のパートナーである。)

モンサントは CIA。

ラスベガス虐殺は CIA。[訳者：最近、9 人目の CIA に不利な証人が殺された。]

北カリフォルニアの不自然な火事は CIA だった。

9・11 は CIA/MI6/Mossad だった。

オクラホマ市庁舎爆撃は CIA だった。

オーロラ映画館虐殺は CIA だった。

サンディ・フック事件は CIA・・・このリストもまた際限がない。

“アジェンダ 21”の人口削減目標は CIA。

私が「CIA である」というとき、それは、「CIA/Deep State にコントロールされている」という意味である。

インサイダーたちは、CIA を「会社」The Company と呼んでいる。今、その意味がわかったであろう [大規模多角経営会社]。

600 万の人々が、CIA 会社のために働いている。

CIA/MI6 は、**地球的に、あらゆる**価値あるものに触手を伸ばしている。

SERCO は CIA、かつ MI 6、かつモサドである。

CIA が**アジェンダ**を策定し、かつ物語をコントロールする。

ビッグ・ブラザーは CIA。彼らはあらゆるところにいる——あなたの電話の中に、パソコンの中に、テレビ、車、冷蔵庫、スマートメーター、またすべての監視カメラや、今どこにもあるスパイ機器の中に。これらの機器のスイッチが切られていて、あなたが料金を払っておらず、サービスが切られていても、彼らは必要なときには、それをオンにして、聞いたり見たりすることができる。

それが全面的コントロールの、ステップ 1 である。次はステップ 2：——

アジェンダ 21、ビッグ・ブラザー (CIA) は、あなたに死んでほしいと思っている——ガン

を注射する致死的ワクチンを使い、次には効かないガン治療などによって。

アジェンダ 21/ビッグ・ブラザー/深層国家/CIA は、地球人口を減らそうと思っている——病気、戦争、ペスト、飢饉、天候操作（干ばつと洪水、地震と火山爆発、巨大ハリケーン、アイスストーム、ブリザード、津波、シンクホール）その他、手段は何でも。

そして、言うまでもなく、ホモセックスを奨励することによって（ホモは子供が生まれない）。

キリスト教西洋文明は、イスラム教を故意に輸入することによって、破壊されようとしている。イスラムは決して同化せず、分裂と内乱をもたらすからである。これはガンジーに聞くがよい。インドでは大変なことになった。土地を分割することによって、すべてのヒンドゥー教徒とキリスト教徒が、インド内に住んだ。イスラム教徒はパキスタンへ行った——なぜなら、戦闘的イスラム（ワッハビ）は、決して他の誰とも平和に暮らすことができないので。そこで訊ねなければならない——なぜ CIA/深層国家は、アメリカに、ムスリムたちを大量輸入しようとしているのか？ 平和を促進するため？ ノー、**分裂と衝突**を促進するためである。

これらは CIA/深層国家が、あなたに知られたくない真実のほんの一部である。そしてそれこそ、彼らがすべてのメディアを**コントロールしなければならない**理由である——テレビ、ラジオ、紙新聞、そしていま彼らはインターネットの検閲を狙っている。

あなたは暗闇にいて押し黙り、ビッグ・ブラザーCIA が、テレビやラジオや新聞から——そしてインターネットから——スプーンで食べさせるものを何でも、丸ごと呑み込まねばならないことになっている。“フェイク・ニュース”であれば、何でも許される。

現状をひっくり返したのは、インターネットや代替ラジオ、ユーチューブやインスタグラムを通じて流れ出した、真実の大きなうねりである。一つの転換点が昨年やってきた。そしてあらゆるレベルでの大規模な投票操作にもかかわらず、トランプが勝った！ **トランプは CIA ではない**、したがって主流メディアから、とめどもなく中傷されている！

PDF: